

## (臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院眼科に、白内障手術のために術前外来へ通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学眼科講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

緑内障点眼薬使用患者の涙道閉塞に関する後ろ向き観察研究

### 2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 眼科講師 高田 幸尚

### 3. 研究の目的

緑内障は、長期に渡る点眼加療が必要な疾患であり、その経過において白内障手術や緑内障手術を受けられることがある。手術合併症には重篤なものとして術後眼内炎があり、涙道閉塞は術後眼内炎のリスクとなることが知られている。緑内障点眼薬使用患者の点眼内容と涙道閉塞の併発について、黄色人種を対象としてこれまで検討された報告は見当たらない。そこで、緑内障点眼薬使用患者で白内障手術前に術前外来を受診された方の涙道閉塞併発の有無について検討する。

### 4. 研究の概要

#### (1) 対象となる患者さん

和歌山県立医科大学附属病院眼科の患者さんで、2016年1月1日から2019年12月31日までの期間中に、白内障手術のために術前外来を受診された方

#### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、基本情報、使用している緑内障点眼薬の内容と点眼開始時期、通水検査、涙道の閉塞部位、結膜嚢培養検査結果、全身基礎疾患、緑内障以外の併用使用点眼薬、に関する情報です。

#### (3) 方法

- ・緑内障点眼薬使用の有無で、涙道閉塞併発率について比較検討を検討する。性別、年齢（年代別）ごとく同様に涙道閉塞併発率について比較検討を行う。また、緑内障患者における涙道閉塞と緑内障点眼薬使用期間について検討する。
- ・緑内障点眼薬使用患者の使用している緑内障点眼内容で系統にわけて、点眼薬スコアと涙道閉塞率を統計学的に相関を検討する。また、緑内障点眼薬使用患者で性別、年齢（年代別）にそれぞれ分けて涙道閉塞併発の有無について比較検定を行う。

### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用さ

れることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

## 7. 問い合わせ先

和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺 219

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院眼科 担当医師 高田幸尚

TEL : 0736-22-0066 FAX : 0736-22-2579

E-mail : ytakada@wakayama-med.ac.jp